

湖西都市計画道路1・3・1号浜松湖西豊橋道路 浜松都市計画道路1・3・402号浜松湖西豊橋道路 環境影響評価準備書に関する説明会

- 1 と き 2026年7月13日(月) 午後7時00分から午後8時30分まで
- 2 ところ 湖西市健康福祉センターおぼと
- 3 来場者 21名
- 4 出席者 静岡県 交通基盤部 都市局 都市計画課
静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課
静岡県 交通基盤部 浜松土木事務所 都市計画課
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 計画課
湖西市 都市整備部 都市政策課
湖西市 都市整備部 都市計画課
- 5 内 容
 - 1) あいさつ
 - 2) 事業概要と手続きの流れ
 - 3) 環境影響評価準備書に関する説明
 - 4) 縦覧と意見書の提出について
 - 5) 質疑応答

【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
低周波音の予測時期である令和22年(計画交通量の発生が見込まれる時期)とは、あらかし2ページ目の計画交通量で示している令和22年時点の台数のことを表しているのか。	完成後の交通量である計画交通量をお示ししているため、その認識で間違いありません。完成年次は未定ですが、令和22年に全線が開通したと想定した中での予測結果となります。
道路自体が有料か無料かで台数が変わるはずだが、どのように考えているか。	一般的に無料の交通の方が大きな台数となります。なお、あらかし2ページ目の計画交通量は、無料ではなく、有料の場合の交通量での推計となっています。
大気質の環境保全措置として、散水や工事用車両の洗車を実施することになっているが、これによって流れ落ちた物質は、水が乾いたら空気中に飛ぶと思うが、それはどのように処理されるか。	工事現場内を散水することによって、粉じんの飛散量を低減することが基本的な稼働時の対応となります。また、工事用車両については、あらかじめタイヤを洗浄することによって粉じんの発生を抑制します。
トラックヤード自体から流れ出る水の処理はどうするか。	基本的には、池で砂を沈めた後の上水を排水するための沈砂池を設置することとなります。

この対策を工事エリアの中で何箇所か作るのか。	工事用車両の出入口で対策します。現段階では、工事用車両の出入口が決まっていないため、事業実施段階で検討します。
事業の内容に変更があった場合、環境影響評価は再度やり直すのか。	環境影響評価法に基づき、変更の内容に応じて環境影響評価をやり直すことがあります。
本事業は、産業振興、観光、渋滞解消や防災の観点でも効果が期待されるため、賛成であり、湖西市内の工場へ他地区からの通勤交通が多く、市内の道路の渋滞が解消されることを期待している。 その中で、湖西市北部の多米峠における交通量が特に多いため、湖西ICの位置を、神座の山の中ではなく、国道301号と豊橋の多米峠の交わる付近に作ってもらえれば、より湖西の発展性が目覚ましいものになると思う。	湖西 IC の配置については、既存の市街地からの距離、産業の拠点からの距離、防災拠点へのアクセス性、湖西市が現在構想している新しいアクセス道路との接続などが考慮されたものとなります。また、産業の拠点から近いところに IC があれば、IC を目指す車と、生活交通の分離も図られる点から、合理的な位置であると考えています。
地下水や河川の水位に関する表の見方（流量や変化幅や影響割合）について教えてほしい。	流量については、工事前と供用後の差し引きが変化幅となります。影響割合については、工事前から供用後における変化幅の割合を示しております。
地下水や河川における農業用水は示された数値が減るということか。	トンネル内の水を戻すことによって、流量確保を図ります。
環境保全措置とされている方法で水量を補完できる根拠は何か。また、影響の低減ではなく、元に戻してほしい。	水量については、事後調査の対象となっております。事業実施段階において事後調査を行い、必要に応じて適切な措置を実施することになります。
農業用水において、水源が湧水と表現されている箇所が地下水位の観測地点に含まれていないのはなぜか。観測地点に含まれなければ、事後調査も行われないのではないか。	今回の環境影響評価では、代表的な地点を評価しています。事業実施段階において、事業者により改めてヒアリングなどを行い、適切に観測地点を設けて調査を実施します。
農業用水は、水質も大事であるため、水質調査を実施する旨を準備書に追加してほしい。	トンネル湧水を還元する際には、各種法令等に定める水質の基準を満足するように、事業実施段階において適切に対応してまいります。

日照障害に関する表の見方を教えてもらいたい。	道路構造により、日影の影響が出るかを予測した結果を示しており、参考となる値には、「損害等に係る費用負担」において、1階で4時間の日陰が発生した時という参考基準を記載しています。なお、予測に関しては、最も日影が長く発生する冬至の日の予測となっています。
環境保全措置として考えている「高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫」の具体的な方法を教えてほしい。	事業化された後、実際の構造を設計するにあたり、日影の影響も含めて検討を行うため、現段階で具体的な対策を示すことはできません。
日影時間が3時間未満の場合は対策されないのか。	事業実施段階において、地域住民の皆様の意見をお聴きしながら、環境保全への配慮を行います。
動物や植物において、よく見る動植物の名前はなく、見たことのない名前が記載されているが、これらは守る必要があるのか。一般的によく見る種も記載してもらうように作ってほしい。	名前が記載されているのは、レッドデータブックなどに載っている重要な種(絶滅危惧種など)です。普通種については記載しておりません。
本日の説明会に、国、県、市がいるが、それぞれの役割分担はどのようになっているのか。	国は、計画段階評価を実施し、浜松湖西豊橋道路の位置、区域、構造等の基本資料を作成しています。県は、都市計画決定権者として、国の協力を得ながら都市計画と環境影響評価手続きを進めています。市は、浜松湖西豊橋道路の都市計画の原案を作成するとともに、本道路の都市計画手続きに伴う市の都市計画道路の変更手続きを行っています。
住民からすると、県は敷居が高いと感じるため、住民に対して真摯で丁寧な説明をお願いしたい。	今後も地元の声を聴きながら、丁寧な説明を行い、都市計画決定までの手続きを進め、事業化につなげていきたいと考えています。
総合評価において「対象道路に関わる環境の保全について適正な配慮がなされていると評価します。」とあるが、今後、学識経験者などが今回の準備書について評価するということで良いか。	総合評価は都市計画決定権者である静岡県が、準備書のとりまとめにあたって評価したものです。本準備書は、今後、県の環境部局において、学識者を含めた環境影響評価審査会に諮られ、そこで出た意見等を踏まえた修正を行い、評価書を作り込んでいく流れとなります。

(説明会配布資料)

・湖西都市計画道路1・3・1号 浜松都市計画道路1・3・402号 浜松湖西豊橋道路(静岡県区間)環境影響評価準備書のあらまし

【パンフレット】